

整理番号 S-122

出 展 織物欠点解析事例集(第 3 集)

欠 点 名 たて筋(糸傷)

品 名 カシミヤ

試料形態 織物

組 織 カシミヤ(変化綾)

糸 使 い

たて糸:ナイロン 100d/24f (S)150T/m

よこ糸:ナイロン 100d/24f 無撚糸

欠点発生状況

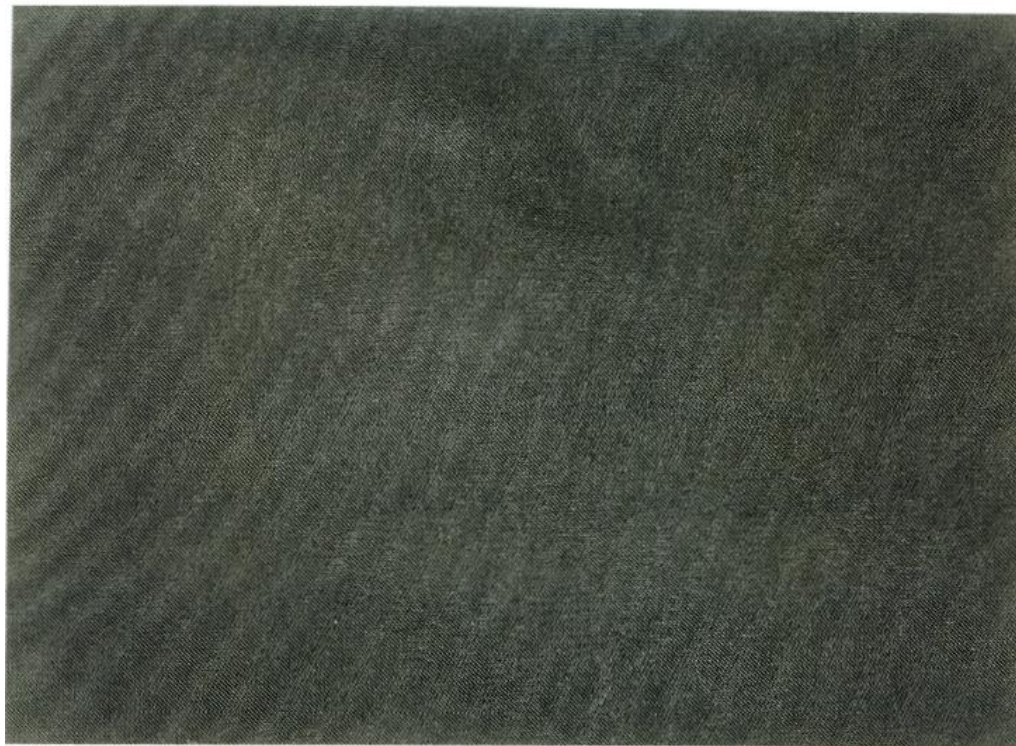
後染でブルーと濃紺色に集中して発生しており、淡色のものには発生していない(目立たない)。生機検査では発見されていない。たて筋の特徴として、(1)細かい筋のものはたて糸 2~3 本、太い筋のものは 8~10 本かたまって配列している。(2)たて筋は、白っぽく見え、布地の表面に目立っている。

工 程

たて:原糸—イタリ—撚糸—部分整経—目|込—シャトル織機

よこ:原糸—管巻—————|

試料写真



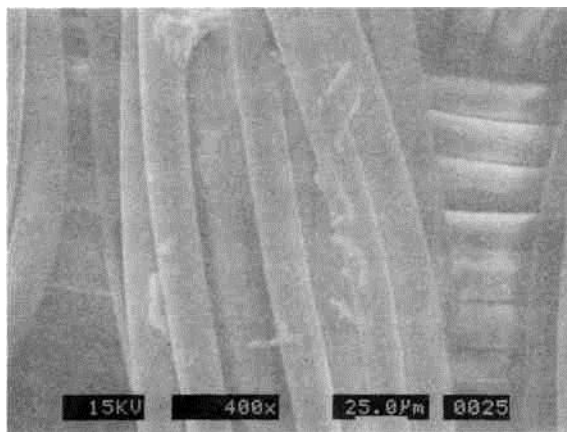
試験結果

(1)強伸度測定、(2)織縮み率測定

	正 常 部	経 筋 部
強 度 (gf)	445.7	235.6
伸 度 (%)	41.9	16.4
織縮み率 (%)	11.2	11.1

(3)電子顕微鏡観察

・たて筋部の糸はフィラメントの表面が削られたような損傷を受けている。



所 見

製織時に筈や綜統の摩耗庇とたて糸の摩擦で、フィラメントが損傷を受けたものである。次の防止対策により解消した。(1)ステンレス筈(羽形深面取の研磨良好な空間率 55%)を採用し、綜統は 32#中目のクロムメッキ製品に取替えた。(2)サイジングは、落糊と静電気防止を考慮した糊組成に改め、ヤーンビームの巻幅は筈通し幅プラス 25mm にした。(3)製布工程の空調は 20℃、75%RH とした。